



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2897 URL <http://nissin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO 兼 常務執行役員 (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	247,317	4.9	15,340	30.7	19,005	38.0	14,112	15.5
29年3月期第2四半期	235,844	8.2	11,735	5.3	13,768	14.4	12,215	12.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 19,803百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 17,845百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	135.55	134.89
29年3月期第2四半期	112.99	112.42

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	543,808	369,816	65.5
29年3月期	537,180	353,517	63.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 356,170百万円 29年3月期 341,057百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		40.00		45.00	85.00
30年3月期		45.00			
30年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	4.9	34,000	18.8	37,000	12.6	24,500	4.0	235.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.8(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	117,463,685 株	29年3月期	117,463,685 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	13,343,692 株	29年3月期	13,373,235 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	104,109,727 株	29年3月期2Q	108,106,536 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、政治、政策面での先行き不透明感が残る中、総じて回復基調となりました。欧米においては、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しにより、底堅い成長を維持しました。アジアでは地政学的リスクが高まるものの、新興国での個人消費やインフラ需要を中心に景気は回復傾向となりました。

国内においては、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような状況の中、当社グループは平成29年3月期からの5カ年を対象とする「中期経営計画2020」に基づき、「本業で稼ぐ力」と「資本市場での価値」の向上を実現すべく、戦略テーマである①グローバルブランディングの促進、②海外重点地域への集中、③国内収益基盤の盤石化、④第2の収益の柱の構築、⑤グローバル経営人材の育成・強化に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高では前年同期比4.9%増の2,473億17百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比30.7%増の153億40百万円、経常利益は前年同期比38.0%増の190億5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比15.5%増の141億12百万円となりました。

&lt;連結業績&gt;

(単位：百万円)

区分	平成29年3月期		平成30年3月期		対前年同期比	
	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	金額	%	
売上高	235,844	247,317	247,317	+11,473	+ 4.9	
営業利益	11,735	15,340	15,340	+ 3,604	+30.7	
経常利益	13,768	19,005	19,005	+ 5,236	+38.0	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	12,215	14,112	14,112	+ 1,897	+15.5	

報告セグメント別の業績の状況は、次のとおりであります。

## ① 日清食品

日清食品㈱の販売状況は、袋めん市場の低迷による影響はあったものの、カップめん類、即席ライス類が売上を伸ばし前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、新たに発売した、こってりなのに“脂質50%OFF” “糖質40%OFF” “カロリー178kcal”を実現した「カップヌードル ナイス」をはじめ、「カップヌードル」群が順調に推移しました。また、即席ライス類では昨年8月に湯かけタイプにリニューアルした「カレーメシ」が引き続き好調であったことに加え、新たに発売した「カップヌードル ぶっこみ飯」、「チキンラーメン ぶっこみ飯」が売上増に貢献しました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比2.5%増の1,078億91百万円となり、セグメント利益は、前年同期比10.1%増の118億33百万円となりました。

## ② 明星食品

明星食品㈱の販売状況は、袋めん類では、「明星 チャルメラ」シリーズが引き続き売上を伸ばしました。一方、カップめん類では、「明星 ぶぶか」シリーズや「明星 チャルメラカップ」シリーズが好調だったものの、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズが新製品の発売を昨年より控えたため売上が前年同期を下回ったことから、即席めん事業全体として前年同期をやや下回りました。利益につきましては、生産性向上や原価率、販売経費率の改善等により増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比0.9%減の199億1百万円となり、セグメント利益は、前年同期比42.6%増の10億39百万円となりました。

## ③ 低温事業

日清食品チルド類の販売状況は、ラーメン類が主力ブランド「行列のできる店のラーメン」の好調により、順調に推移しました。しかしながら、チルドめんの需要が低迷しており、市場環境も激化していることから、前年同期比で減収となりました。

日清食品冷凍類の販売状況は、具付きパスタ類、具付きラーメン類を中心に売上が伸長しました。パスタ類では、「牛挽肉とまいたけのクリーミーボロネーゼ」をはじめとする、もちっとした食感が特徴の「日清もちっと生パスタ」シリーズが引き続き好調でした。具付きラーメン類では「冷凍 日清中華 汁なし担々麺」、「冷凍 日清具多 辣椒担々麺」等が売上が伸びました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比4.7%増の319億92百万円となり、セグメント利益は、前年同期比11.5%増の12億2百万円となりました。

## ④ 米州地域

米州地域においては、価格競争の影響を受けにくい企業体質への改善を目指しております。昨年9月に米国及びブラジルで「CUP NOODLES」のリニューアルを実施し、市場のニーズに合った高付加価値商品の投入と、既存ブランドの売上と利益の確保に取り組んでおり、米州セグメント全体として増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比11.6%増の307億64百万円、セグメント利益は前年同期比51.2%増の11億27百万円となりました。

## ⑤ 中国地域

中国地域においては、中国大陸での即席めん市場が底を打ち、高価格帯市場が拡大しております。そのような中、販売エリア拡大（華北・東北・西南地区）と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。売上については、前第4四半期連結会計期間より連結子会社化したMC Marketing & Sales (Hong Kong) Limitedの寄与もあり増収となりました。利益については、新工場稼働に伴う償却費の増加などにより前年同期をやや下回りました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比20.2%増の209億83百万円となり、セグメント利益は、前年同期比0.5%減の18億8百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業等及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比2.3%増の357億84百万円となり、セグメント利益は、前年同期比41.4%減の13億34百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ66億27百万円増加し、5,438億8百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に現金及び預金が189億11百万円減少した一方、有形固定資産が199億36百万円、受取手形及び売掛金が30億19百万円、流動資産のその他が25億5百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ96億71百万円減少し、1,739億91百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が33億91百万円、流動負債のその他が11億41百万円増加した一方、短期借入金が152億55百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ162億98百万円増加し、3,698億16百万円となりました。これは主に利益剰余金が95億22百万円増加したこと及びその他有価証券評価差額金が43億94百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.5%から65.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表しました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,919	52,008
受取手形及び売掛金	65,290	68,309
有価証券	1,155	653
商品及び製品	12,697	13,586
原材料及び貯蔵品	16,209	17,188
その他	11,999	14,505
貸倒引当金	△385	△397
流動資産合計	177,887	165,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,936	67,204
機械装置及び運搬具（純額）	50,689	58,817
土地	52,748	53,133
その他（純額）	23,639	28,795
有形固定資産合計	188,013	207,950
無形固定資産		
のれん	30,464	29,756
その他	13,606	12,475
無形固定資産合計	44,070	42,232
投資その他の資産		
投資有価証券	120,136	121,156
退職給付に係る資産	335	321
その他	6,868	6,470
貸倒引当金	△132	△177
投資その他の資産合計	127,208	127,770
固定資産合計	359,293	377,953
資産合計	537,180	543,808

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,705	55,096
短期借入金	18,450	3,194
未払金	32,961	33,646
未払法人税等	7,926	6,440
その他	24,804	25,946
流動負債合計	135,847	124,324
固定負債		
長期借入金	15,867	16,120
退職給付に係る負債	7,346	7,235
その他	24,601	26,311
固定負債合計	47,815	49,666
負債合計	183,662	173,991
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	49,823	49,818
利益剰余金	308,074	317,596
自己株式	△58,190	△58,063
株主資本合計	324,830	334,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,794	28,189
繰延ヘッジ損益	-	3
土地再評価差額金	△6,382	△6,382
為替換算調整勘定	△1,403	△219
退職給付に係る調整累計額	218	104
その他の包括利益累計額合計	16,227	21,695
新株予約権	1,626	1,870
非支配株主持分	10,833	11,775
純資産合計	353,517	369,816
負債純資産合計	537,180	543,808

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	235,844	247,317
売上原価	129,581	135,570
売上総利益	106,262	111,747
販売費及び一般管理費	94,526	96,406
営業利益	11,735	15,340
営業外収益		
受取利息	417	468
受取配当金	907	778
有価証券売却益	1,024	888
持分法による投資利益	647	1,340
その他	396	673
営業外収益合計	3,392	4,148
営業外費用		
支払利息	193	219
為替差損	951	15
その他	214	249
営業外費用合計	1,360	484
経常利益	13,768	19,005
特別利益		
固定資産売却益	22	38
投資有価証券売却益	6,828	551
受取保険金	—	415
その他	35	34
特別利益合計	6,887	1,040
特別損失		
固定資産廃棄損	103	165
減損損失	546	19
火災による損失	480	—
投資有価証券評価損	—	59
関係会社株式評価損	408	184
契約変更による精算金	536	—
その他	28	90
特別損失合計	2,102	519
税金等調整前四半期純利益	18,552	19,526
法人税等	6,185	5,301
四半期純利益	12,367	14,225
非支配株主に帰属する四半期純利益	151	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,215	14,112



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	12,367	14,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,790	4,393
繰延ヘッジ損益	△21	3
土地再評価差額金	△25	—
為替換算調整勘定	△9,033	1,603
退職給付に係る調整額	1,580	△137
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,922	△284
その他の包括利益合計	△30,212	5,578
四半期包括利益	△17,845	19,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,686	19,580
非支配株主に係る四半期包括利益	△158	223

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、連結子会社のうち決算日または仮決算日が12月31日であったニッシンフーズアジア PTE. LTD. 等の連結子会社7社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更または連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

これらの決算期変更に伴う、平成29年1月1日から平成29年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	105,215	20,080	30,560	27,560	17,458	200,874	34,969	235,844	—	235,844
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	473	2,919	756	1	161	4,314	14,013	18,327	△18,327	—
計	105,689	23,000	31,317	27,561	17,620	205,188	48,983	254,172	△18,327	235,844
セグメント利益	10,752	728	1,078	745	1,817	15,122	2,278	17,401	△5,665	11,735

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5,665百万円には、退職給付関係費用△2,187百万円、のれんの償却額△985百万円、セグメント間取引消去等△161百万円、グループ関連費用△2,330百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	107,891	19,901	31,992	30,764	20,983	211,533	35,784	247,317	—	247,317
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	424	2,549	708	2	182	3,867	14,067	17,935	△17,935	—
計	108,316	22,450	32,701	30,766	21,165	215,401	49,852	265,253	△17,935	247,317
セグメント利益	11,833	1,039	1,202	1,127	1,808	17,011	1,334	18,345	△3,004	15,340

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,004百万円には、退職給付関係費用305百万円、のれんの償却額△847百万円、セグメント間取引消去等△129百万円、グループ関連費用△2,333百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。